

かんだエコだより

問い合わせ ▶ 環境保全課 ☎ 093・434・1834

菟田町 ごみの出し方

検索



菟田町では、ごみの減量化・資源化・リサイクルに取り組んでおり、25日号でごみの正しい出し方を紹介しています。今回は菟田町のごみ処理の現状、減量化に向けて普段からできる取り組みについて紹介します。

菟田町のごみ処理の現状

菟田町では、年間約13,000 tのごみが排出されています。下の表は、過去5年間のごみ・資源物の収集量の推移です。町が収集するごみの量（総収集量）は、年々増加しています。

＜ごみ・資源物の収集量の推移＞

(単位：t)

年度	総収集量	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	直接搬入ごみ	合計	1人1日当たりの排出量
H27	9,598	8,082	410	523	583	3,443	13,041	1,014g
H28	9,391	7,917	380	539	555	3,470	12,861	982g
H29	9,582	8,057	388	541	596	3,166	12,748	959g
H30	9,715	8,154	384	533	644	3,167	12,882	959g
H31	9,901	8,216	431	521	733	3,349	13,250	985g

(環境省：一般廃棄物処理実態調査より ※H31は速報値)

ごみの減量に向けた取り組み

ごみの減量には、身近なところからできる「4R」が効果的です。一人ひとりが、毎日の生活の中で少しずつ実践することで大きな成果につながります。



菟田町の令和5年度の「1人1日当たりのごみ排出量」の目標は**915g**です。目標達成に向けて「4R」を実践しましょう。
※H31年度の排出量は985g

Reduce (リデュース) とは「減らす、少なくする」という意味。普段の暮らしのちょっとした心がけがリデュースにつながります。

できること

マイバッグを持参する / 過剰包装や不要な割り箸などを断る / 使い捨て商品の使用を控え、詰め替え用品を使う / 食べ物は残さず食べる、食べきれない分だけ買う・作る など

Reuse (リユース) とは「使ったものを繰り返し使う」という意味。繰り返し使えるものを選び、使えなくなるまで使きましょう。

できること

修理して長く大事に使う / フリマやリサイクルショップを利用する / 新しい使い方を考える (例：着られない服を雑巾にするなど) / 必要としている人に譲る など

Recycle (リサイクル) とは「再び資源として利用する」という意味。ごみを正しく分別すれば資源として再び有効利用されます。

できること

資源の分別をする (カン・ビン・ペットボトル、新聞・雑誌など) / 新聞・雑誌などの紙ごみや古着は、「資源回収助成金制度」に登録団体が行っている資源回収や、役場や公民館の「回収BOX」に出す など

Refuse (リフューズ) とは「断る、拒否する」という意味。ごみとなるものを買わない、貰わないことでごみの減量につながります。

できること

過剰包装を断る / マイボトルを利用し、ペットボトル飲料などを買わない / ストローや使い捨てのスプーン、割りばしなどは不要時は断る など